

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】令和7年2月28日(2025.2.28)

【国際公開番号】WO2024/004310
【出願番号】特願2024-530303(P2024-530303)

【国際特許分類】

C 0 8 L 3 3 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 K 3 / 3 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 L 8 3 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 L 3 3 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 L 3 3 / 0 6

C 0 8 K 3 / 3 6

C 0 8 L 8 3 / 0 8

C 0 8 L 3 3 / 1 4

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月11日(2024.12.11)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(メタ)アクリル酸アルキルを含むモノマーの共重合体であるアクリル系ゴムと、シリカと、分子ごとに2以上のアミノ基を有するポリオルガノシロキサンと、を含むゴム組成物。

30

【請求項2】

前記アクリル系ゴムが、(メタ)アクリル酸アルキルと、カルボキシル基含有モノマーと、を含むモノマーの共重合体であるカルボキシル基含有アクリル系ゴムである、請求項1に記載のゴム組成物。

【請求項3】

前記アクリル系ゴムが、(メタ)アクリル酸アルキルと、カルボキシル基含有モノマーと、オレフィンと、を含むモノマーの共重合体であるカルボキシル基含有アクリル系ゴムである、請求項1に記載のゴム組成物。

【請求項4】

前記アクリル系ゴムが、(メタ)アクリル酸アルキルと、エポキシ基含有モノマーと、を含むモノマーの共重合体であるエポキシ基含有アクリル系ゴムである、請求項1に記載のゴム組成物。

40

【請求項5】

前記アクリル系ゴムが、(メタ)アクリル酸アルキルと、エポキシ基含有モノマーと、オレフィンと、カルボン酸ビニルと、を含むモノマーの共重合体であるエポキシ基含有アクリル系ゴムである、請求項4に記載のゴム組成物。

【請求項6】

前記オレフィンが、エチレン、ブタジエン、及びイソプレンからなる群から選択される少なくとも一種である、請求項3に記載のゴム組成物。

【請求項7】

50

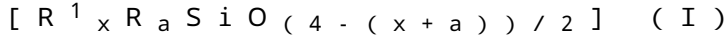
前記シリカの BET 比表面積が $100 \sim 130 \text{ m}^2 / \text{g}$ である、請求項 1 に記載のゴム組成物。

【請求項 8】

前記（メタ）アクリル酸アルキルのアルキル部分の炭素数が $1 \sim 4$ である、請求項 1 に記載のゴム組成物。

【請求項 9】

前記ポリオルガノシロキサンが下記構造ユニット（I）を有する、請求項 1 に記載のゴム組成物。



（式（I）において、 x は 1、2 又は 3 であり、 a は 0、1 又は 2 であり、 $x + a < 4$ であり、 R はそれぞれ独立してメチル、エチル、プロピル、フェニル又はヒドロキシであり、 R^1 はそれぞれ独立して NH_2 基を有する一価の有機残基である。） 10

【請求項 10】

前記アクリル系ゴムに対する前記シリカの質量割合（シリカ / アクリル系ゴム）が $0.2 \sim 1.0$ である、請求項 1 に記載のゴム組成物。

【請求項 11】

前記アクリル系ゴムに対する前記ポリオルガノシロキサンの質量割合（ポリオルガノシロキサン / アクリル系ゴム）が $0.005 \sim 0.08$ である、請求項 1 に記載のゴム組成物。

【請求項 12】 20

前記シリカに対する前記ポリオルガノシロキサンの質量割合（ポリオルガノシロキサン / シリカ）が $0.01 \sim 0.3$ である、請求項 1 に記載のゴム組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 12 のいずれか一項に記載のゴム組成物を硬化して得られる硬化物。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の硬化物を含むホース、シール、又はガスケット。

30

40

50